

こいで ならしげ
小出 栢重

《めでたき風景》^{ふうけい} 1926年 墨、彩色・紙 44.0×73.0cm

着飾った男女、神の使いと言われている奈良公園の鹿、古くからめでたいとされる松竹梅など、まさに「めでたき風景」が、墨と淡彩で描かれています。この作品は作家が奈良で制作をしていた頃に目にした早春の風景です。5年以上も前の出来事を思い出して描いています。作家は油彩画家として有名ですが、この作品では絵日記風に肩の力を抜いて、記憶に残る風景を描いています。作家自身が楽しんで描いているように思いませんか。

- 1887年 大阪に生まれる。
- 1914年 東京美術学校西洋画科卒業。卒業後は奈良で制作活動を行う。
- 1919年 二科展に《Nの家族》他出品、樗牛賞受賞。
- 1921年 渡欧。翌年帰国。
- 1930年 随筆集『めでたき風景』出版。
- 1931年 兵庫で没。享年43。

